



# 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトブレイン株式会社  
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 豊田 浩文  
 (氏名) 木下 鉄平

TEL 03-6880-2600

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	3,542	16.1	376	52.2	377	54.9	159	28.1
25年12月期第3四半期	3,051	3.1	247	△39.3	243	△40.3	124	△47.7

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 211百万円 (50.9%) 25年12月期第3四半期 140百万円 (△51.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	5.46	—
25年12月期第3四半期	4.26	—

(注) 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	3,868	2,934	65.2	86.17
25年12月期	3,667	2,722	64.4	80.70

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 2,520百万円 25年12月期 2,361百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	8.7	530	7.6	530	7.6	250	△36.1	8.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	30,955,000 株	25年12月期	30,955,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	1,700,000 株	25年12月期	1,700,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	29,255,000 株	25年12月期3Q	29,255,000 株

- (注) 1. 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。上記株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。
2. 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有している当社株式(150,000株)を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済を振り返りますと、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら足元では、消費税増税影響の長期化や悪天候により個人消費が鈍化するとともに、企業の設備投資に一部で弱さがみられる等、不安定な要因も散見されました。

このような状況の下、当社グループは、「ツールとサービスの融合」「ボリュームゾーンへの挑戦」「スピードアップと効率化の実践」を経営方針とし、「eセールスマネージャー関連事業」「フィールドマーケティング事業」「システム開発事業」などの各セグメントにおいて業績向上に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間では、主力事業である「eセールスマネージャー関連事業」と「フィールドマーケティング事業」を中心に各セグメントにおいて業績が堅調に推移した結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,542百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

利益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加に加え、「システム開発事業」における事業構造改革の実施により、前年同期と比較して大幅に増益となりました。

その結果、営業利益376百万円（前年同期比52.2%増）、経常利益377百万円（前年同期比54.9%増）となり、四半期純利益に関しましては、繰延税金資産の減少により、159百万円（前年同期比28.1%増）となりました。

セグメント別に見ますと、「eセールスマネージャー関連事業」では、スマートフォンやタブレット端末でも利用可能な「eセールスマネージャーRemix Cloud」の販売を中心に、「営業マン育成コンサルティング」をはじめとした営業コンサルティングサービスを提供しております。また、継続的な開発投資により、幅広い顧客ニーズに応えるべく努めております。

当第3四半期連結累計期間においては、「使い勝手No.1」に向けた「eセールスマネージャーRemix Cloud」のリビジョンアップ第1弾の大幅なデザイン刷新をはじめとして、タイムライン機能、Excelとのデータ連携搭載、法人営業を強化するコンタクト先管理機能の搭載と4回にわたり、リビジョンアップを行ってまいりました。今後も継続的な開発を行い、当期中に第5弾のスマートデバイスにフォーカスした使い勝手向上のリビジョンアップを予定しております。

また、スマートデバイスの普及が市場ニーズを大きく高めている状況を踏まえ、開発投資のみならず、組織体制の強化を目的とした人材採用や、販売促進・広告宣伝への投資を強化しております。

以上の結果、売上高1,763百万円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益165百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

「フィールドマーケティング事業」では、主に店頭における営業支援活動及びマーケットリサーチ事業を手掛けております。店頭におけるフィールド活動やマーケット調査は、主婦層を中心とした「キャスト（登録スタッフ）」を活用しております。当第3四半期連結累計期間ではその登録スタッフ数は5万人を突破しており、カバー店舗数は国内全体で11万店舗と拡大しております。また、「Point of Buy(R)購買理由付データ」提供サービスの対象会員数が11万人を突破し、サンプル数増加で購入理由の検証強化を図り、さらなる事業拡大のための足元を固めております。このような人的インフラを活用し、お客様のニーズに応えるよう営業活動を続けた結果、売上、利益ともに堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高1,176百万円（前年同期比29.3%増）、セグメント利益195百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

「システム開発事業」では、ソフトウェアの受託開発及びお客様のパッケージ開発・カスタマイズを中心にサービスを提供しております。当第3四半期連結累計期間では既存顧客における更なる開発案件の創出と新規顧客の獲得に努める一方、環境変化に伴う軟脳離岸資源有限公司の売却やニアショア開発推進等の事業構造改革の結果、損益が黒字化いたしました。

以上の結果、売上高361百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益2百万円（前年同期は58百万円の損失）となりました。

「その他」の事業については、売上高356百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益11百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ200百万円増加し、3,868百万円となりました。その主たる要因は、売上債権が196百万円、繰延税金資産が42百万円減少したものの、現金及び預金が461百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、933百万円となりました。その主たる要因は、前受金が34百万円増加したものの、未払法人税等が41百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ211百万円増加し2,934百万円となりました。その主たる要因は、四半期純利益の計上等により利益剰余金が155百万円増加したこと、および少数株主持分の増加51百万円によるものです。自己資本比率は、65.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成26年1月30日に公表いたしました平成26年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,058,490	2,520,182
受取手形及び売掛金	671,319	474,320
商品及び製品	62,948	77,264
仕掛品	57,898	58,678
繰延税金資産	116,791	146,876
その他	99,381	66,915
貸倒引当金	△5,646	△3,679
流動資産合計	3,061,182	3,340,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	51,950	50,367
減価償却累計額	△21,308	△26,600
建物及び構築物(純額)	30,642	23,766
工具、器具及び備品	231,051	191,891
減価償却累計額	△199,945	△155,953
工具、器具及び備品(純額)	31,106	35,938
有形固定資産合計	61,748	59,704
無形固定資産		
ソフトウェア	307,218	302,409
その他	10,665	8,415
無形固定資産合計	317,884	310,824
投資その他の資産		
投資有価証券	6,897	6,897
差入保証金	43,925	46,490
破産更生債権等	36,394	40,773
繰延税金資産	173,175	100,755
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△36,394	△40,773
投資その他の資産合計	226,998	157,144
固定資産合計	606,631	527,673
資産合計	3,667,814	3,868,232

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	201,119	173,499
短期借入金	150,000	150,000
未払金	116,942	90,939
未払役員賞与	13,170	-
未払法人税等	100,779	59,281
前受金	220,326	254,680
賞与引当金	25,739	59,765
役員賞与引当金	-	11,659
返品調整引当金	5,072	5,266
その他	111,755	119,278
流動負債合計	944,904	924,370
固定負債		
株式給付引当金	-	9,254
固定負債合計	-	9,254
負債合計	944,904	933,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	616,734
利益剰余金	1,181,502	1,337,367
自己株式	△263,285	△259,385
株主資本合計	2,361,015	2,520,780
少数株主持分	361,894	413,825
純資産合計	2,722,910	2,934,606
負債純資産合計	3,667,814	3,868,232

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,051,138	3,542,109
売上原価	1,865,971	2,109,900
売上総利益	1,185,166	1,432,209
返品調整引当金繰入額	5,468	5,266
差引売上総利益	1,179,698	1,426,942
販売費及び一般管理費	932,377	1,050,431
営業利益	247,320	376,511
営業外収益		
受取利息	782	425
補助金収入	1,600	600
投資有価証券売却益	1,770	—
為替差益	—	1,146
その他	3,450	139
営業外収益合計	7,604	2,311
営業外費用		
支払利息	1,155	853
持分法による投資損失	133	—
為替差損	9,298	—
その他	386	71
営業外費用合計	10,973	924
経常利益	243,950	377,899
特別利益		
関係会社株式売却益	17,233	—
特別利益合計	17,233	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,707
特別損失合計	—	1,707
税金等調整前四半期純利益	261,184	376,191
法人税、住民税及び事業税	90,428	122,160
法人税等調整額	30,442	42,333
法人税等合計	120,871	164,494
少数株主損益調整前四半期純利益	140,313	211,696
少数株主利益	15,615	51,931
四半期純利益	124,697	159,765



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	140,313	211,696
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7	-
その他の包括利益合計	7	-
四半期包括利益	140,320	211,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,702	159,765
少数株主に係る四半期包括利益	15,617	51,931

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,585,244	863,247	295,668	2,744,160	306,977	3,051,138	—	3,051,138
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	11,379	47,078	53,755	112,213	29,398	141,611	△141,611	—
計	1,596,624	910,326	349,423	2,856,374	336,375	3,192,750	△141,611	3,051,138
セグメント利益	140,041	166,094	△58,482	247,653	△10,713	236,940	10,380	247,320

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業、ビジネス書籍の企画・編集・発行事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額10,380千円には、固定資産の調整額10,451千円、棚卸資産の調整額△71千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,751,211	1,160,998	310,753	3,222,963	319,146	3,542,109	—	3,542,109
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	12,330	15,803	51,125	79,260	37,291	116,552	△116,552	—
計	1,763,542	1,176,801	361,879	3,302,223	356,438	3,658,662	△116,552	3,542,109
セグメント利益	165,289	195,724	2,309	363,322	11,160	374,483	2,027	376,511

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業、ビジネス書籍の企画・編集・発行事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,027千円には、固定資産の調整2,272千円、棚卸資産の調整額△244千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。